

資 料 提 供

令和6年4月12日(金)

自然環境課

外線 076-225-1475/内線 4260

文化財課

外線 076-225-1840/内線 5620

県内のコウノトリのヒナ誕生について

昨年より津幡町内の人工巣塔の上で営巣していたコウノトリのペアに、ヒナが誕生していることが本日までに確認されました。県内でのコウノトリのヒナ誕生は3年連続となります。

<コウノトリについて>

ワシントン条約附属書Ⅰ、国特別天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。国のレッドリストでは絶滅危惧ⅠA類、いしかわレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に選定される絶滅危惧種の鳥類です。

2月から営巣、3～4月に産卵、4～5月にふ化、7月上旬ごろまでに巣立ちとなります。主にマツの高木の他、電柱にも営巣します。湿地や水田でドジョウ、カエル、バッタなどを採餌します。

<日本産コウノトリの絶滅とこれまでの人工繁殖・放鳥>

昭和46年に野生下、昭和61年に飼育下のコウノトリが死亡し、日本産コウノトリは絶滅しました。昭和60年以降、兵庫県が旧ソビエト連邦(ハバロフスク地方)のコウノトリから人工繁殖・放鳥を進め、近年、生息数が増加しています。令和5年2月28日時点で、国内の野生推定個体数は300羽となっています。

<石川県内への飛来状況>

兵庫県を中心に生息し、全国各地に飛来が確認されています。県内では平成30年から記録を集計し、令和6年4月までに9市5町で飛来が確認されています。

<取材について>

コウノトリの静穏な環境維持の観点から、現地取材はご遠慮下さい。また、詳細の内容および写真データについては、下記までご連絡をお願いします。

・津幡町教育委員会生涯教育課(連絡先:076-288-2125)



津幡町内のコウノトリの親とヒナ（日本コウノトリの会 撮影）